

2014年3月6日(木) 3/6 社会面

被災者の心支える

「臨床宗教師」養成へ

龍谷大大学院(京都市伏見区)は4月から、被災者や末期がん患者らの心のケアに当たる「臨床宗教師」の養成プログラムを開設する。東日本大震災で僧侶や牧師ら宗教者が宗派を超えて被災者をケアしたことをきっかけに生まれた民間の資格。養成プログラム開設

龍谷大 全国2例目

は全国で2例目となる。2012年4月に開設した東北大大学院文学研究科では、これまでに僧侶や牧師ら57人が修了している。東北大の呼びかけに応じて龍谷大が連携することを決めた。プログラムは1年間。14年度は龍谷大大学院実践宗教学研究科の在籍者。と修了者を対象に5〜10人を養成する。東北大から講師を招くほか、大震災の被災地などでも実習する。15年度以降は、外部の宗教者にも対象を広げる予定。龍谷大の鍋島直樹教授は「相手の苦しみに向き合える宗教者を養成したい」と話している。【掘智行】